

自治体ICT部門の取り組み

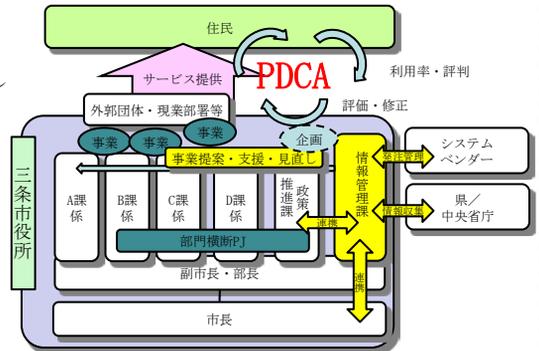
新潟県三条市

実施事業：優しい「まちなか」創造事業・安心安全すまいるネットワーク事業 他

自治体経営の様々な先駆的試みでも知られる新潟県三条市は、行政サービスへのICTの取り込みに積極的であり、これまでに地域ICT活用事業において6事業のまちづくりや産業振興、健康増進活動等の多様な取り組みを連続して展開し、それぞれに成果を上げている。今回はこれらの活動を支える情報管理課の活動に焦点を当てその取り組みを紹介する。

三条市の情報化体制とIT部門の取り組み

- 三条市総務部情報管理課は、①情報政策に係る企画及び推進、②情報通信基盤等の整備及び利活用、③電子自治体の構築（行政情報化の企画及び推進）、④情報システムの開発及び管理をミッションとし、庁内各部門のIT施策の企画・立案を当事者として進めている。
- ① 事業企画段階では情報管理課が事業所管部署に対して、補助制度利用・ICT活用に関する積極的な提案を行う
 - ・「ICTありき」のスタンスは控え、政策の方向性に沿うICTの活用を提案し所管課の意欲を引き出す
- ② 補助事業申請の段階では、導入後に所管部署が負担するランニングコストの軽量化を意識した事業設計となるよう、情報管理課が企画内容を指導する
 - ・事業の長期継続を前提に、開発後の管理と運営を引き継げるようにする
- ③ 事業の結果については、全庁的な業務改善活動として所管部署とPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを回し、導入したICTインフラについても利用者増と効率化につなげられるよう柔軟に見直す。



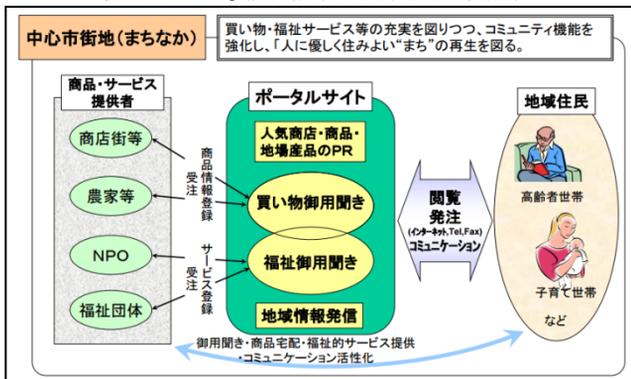
注目すべきポイント

- 「地域ICT活用推進事業」の6事業の採択実績は、首長の優れたリーダーシップのもと自治体IT部門が各種の施策をチャンスとして消化し、また採択後に事業環境変化に応じて継続的且つ大胆に見直しをかけている。
- 他部署のIT化に向けて積極的に働きかけ、機能別のタテ割り組織を統合し「横断を通す力」を推進している。

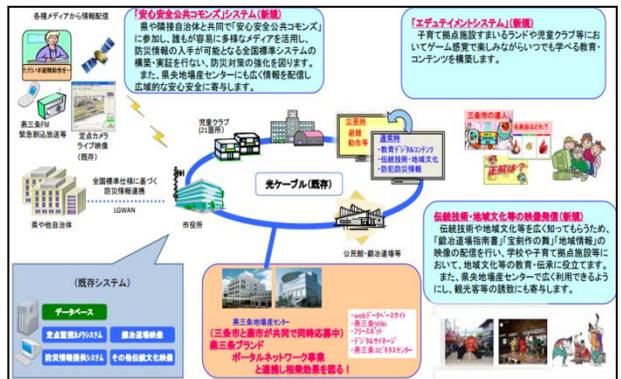
主な事業・取り組みの結果

- 優しい「まちなか」創造事業（中心商店街有志店舗による共同宅配事業）
 - 絶対数は少ないながらもサービスエリア拡大や口コミ等によって現在も高齢者を主体に利用者を増やしている。
- 安心安全スマイルネットワーク事業（緊急通報普及・定着事業）
 - 普及手段としてゲーミフィケーションの考え方を応用、情報端末の設置箇所を温泉施設や図書館等に拡張し利用を伸ばしている。また、アラート導入に伴い緊急通報システムを一本化し、同等以上の機能を維持しながらランニングコストを低減させることに成功している。
- 一方、子育て世代の女性等を対象として企画された市民ポータルサイト・SNS運営事業の場合は、民間サービスの浸透に対抗できる魅力的な独自コンテンツの継続発信が結果的にできず、想定していた子育て女性層の利用がない状態が続き、ポータル各機能を市オフィシャルサイトに移管した上でポータル閉鎖した。また、健康増進施策推進のため整備した生体センシング・健康ナビゲーションシステムについて、必要な個人情報が取得しにくい等の判断に基づき、全庁横断組織「スマートウェルネス推進室」の主導で管理運営体制やサービス内容を変更する等の柔軟な対応を取っている。

優しい「まちなか」創造事業（さんじょうご用聞き笑店街）



安心安全スマイルネットワーク事業



<実施団体の横顔>



〒955-8686 新潟県三条市旭町2-3-1

<本件に関する問い合わせ先、導入検討・視察の相談等>

三条市総務部情報管理課
電話：0256-34-5511 (代表)

E-mail: joh[atmark]city.sanjo.niigata.jp

※スパム対策としてメールアドレスを一部変更して記載してあります。
eメールを御送付の際は、「[atmark]」を「@」に変えてご利用ください。